

伝法地区まちづくりに関する調査(アンケート)結果 【速報値】

伝法地区では、地区の将来を見据え、各種団体の連携のもと地区の課題解決に向け効果的・効率的なまちづくり活動を推進していくため「伝法地区まちづくり行動計画」を策定しています。令和7年度から次期計画の策定に向けて取り組むにあたり、地域住民の生活実態と町内会及びまちづくり協議会に対する住民ニーズを正確に把握するため「まちづくりに関する調査(アンケート)」を実施しました。ご協力ありがとうございました。

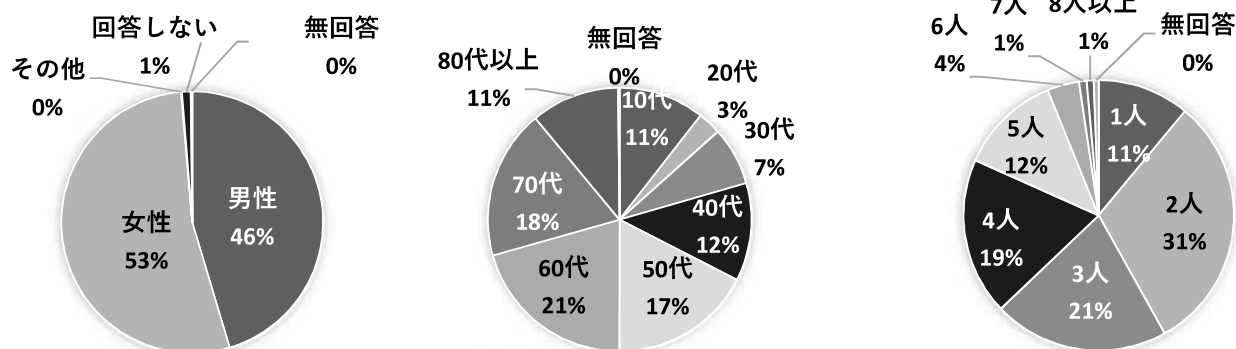
調査概要 ■実施時期 令和7年2月～3月 ■対象数(12才以上人口) 10,859人
 ■有効回答数 2,756人(電子回答1,498人、紙回答1,258人) ■回答率 25.4%

地区の状況

※各設問の回答割合は、小数点以下を四捨五入しています。

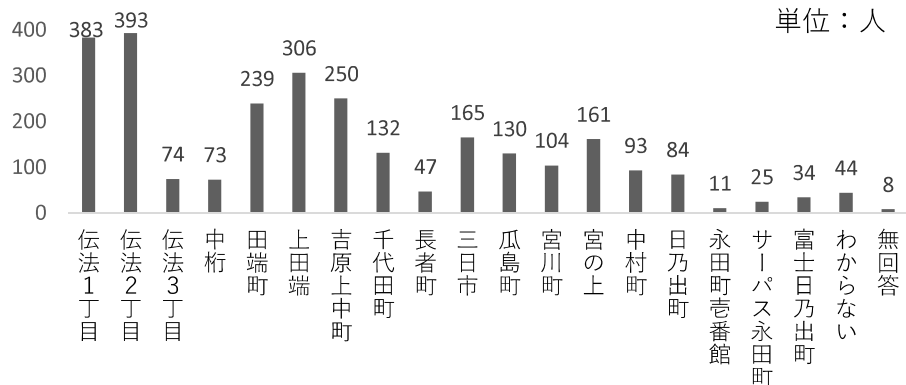
回答者の年代は40代以上の回答が多くなっています。公立の中学生は学校で実施したため10代の回答率も高くなっています。伝法地区が住みやすい(どちらかといえば住みやすいを含む)と感じる方は74%、伝法地区が好き(どちらかといえば好きを含む)と感じる方は71%と、いずれも高くなっています。

(1)あなたの性別を教えてください (2)あなたの年齢を教えてください (3)あなたの世帯人数を教えてください。
 さい。(2024年4月1日現在)



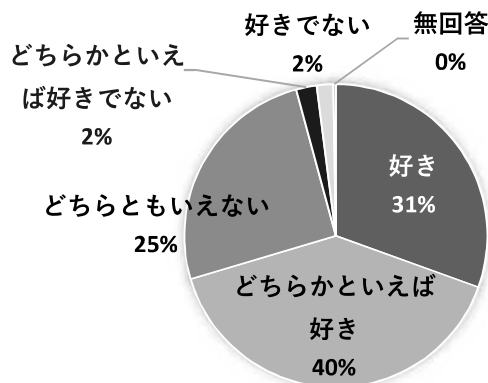
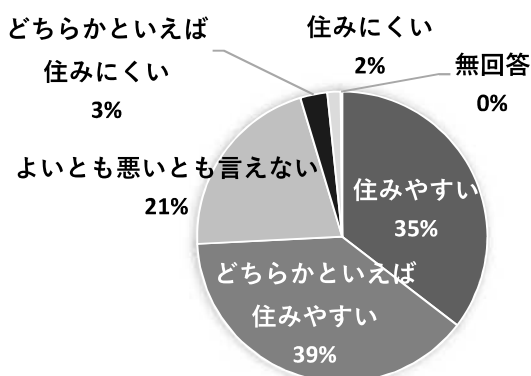
(4)あなたの現在お住まいの町内会を教えてください。

単位：人



(5) 伝法地区は住みやすいですか？

(6) あなたはお住まいの伝法地区が好きですか？



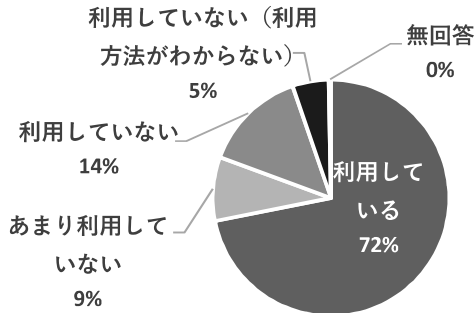
伝法地区まちづくりに関する調査(アンケート)結果 【速報値】

情報入手について

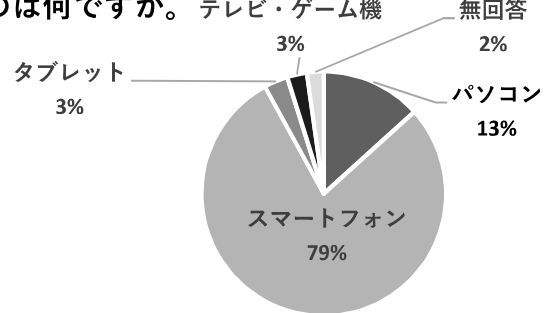
インターネットを利用している人は、あまり利用していない方を含めると8割以上となっています。
現状では、まちづくり活動の情報は回覧板から得ている方が最も多く重要な情報発信ツールといえますが、デジタル回覧板の導入に前向きな人も約半数いることがわかります。

【利用している・あまり利用していない方のみ】

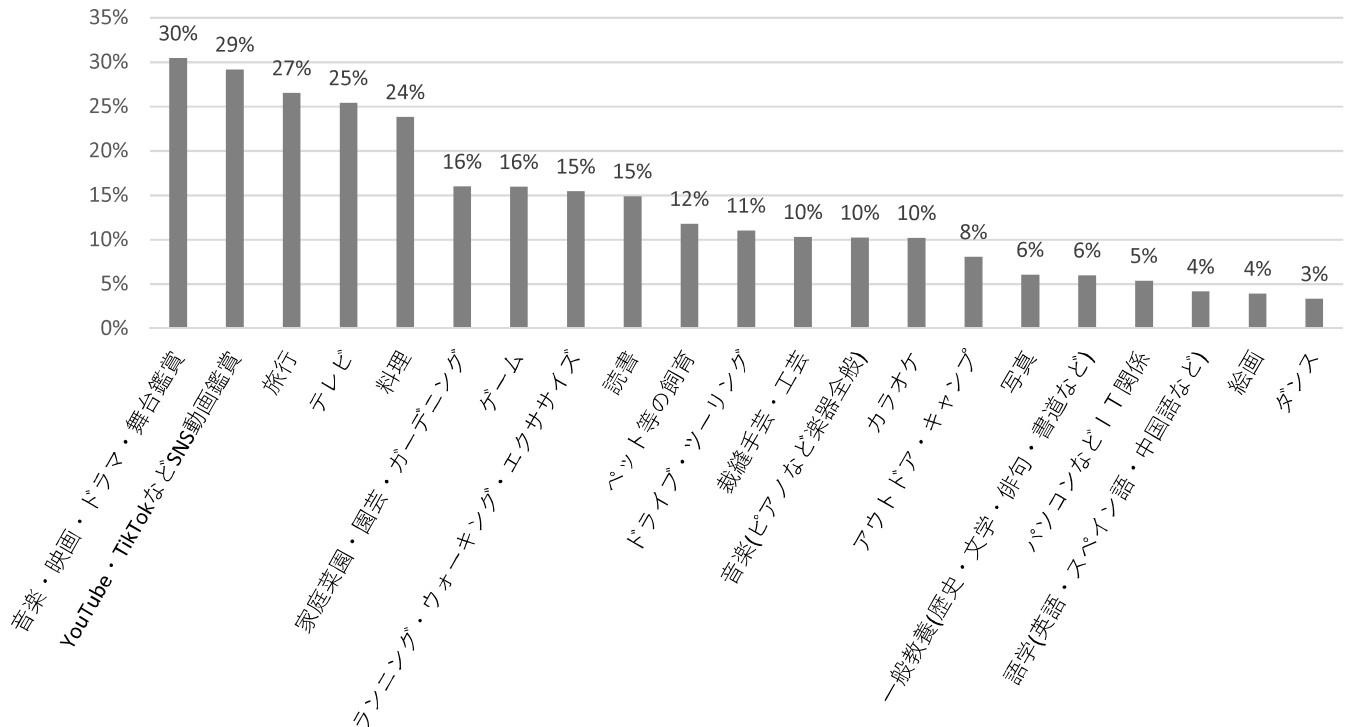
(7)あなたは、インターネットを利用していますか。



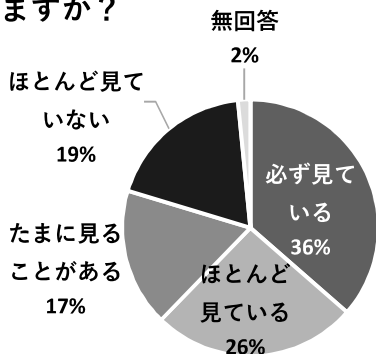
(8)インターネットを利用するときに特に使用頻度が高いものは何ですか。テレビ・ゲーム機



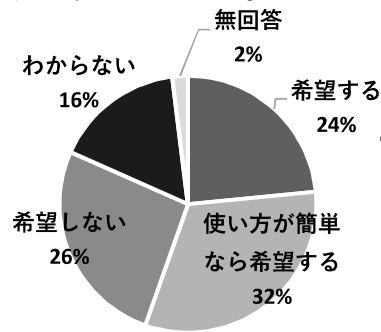
(9)あなたの興味のあることや得意なことは何ですか。(複数回答)



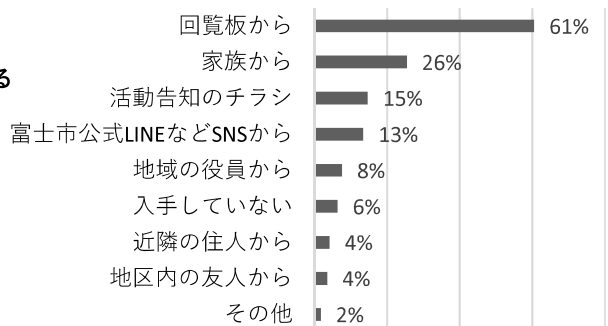
(10)あなたは回覧板を見ますか？



(11)デジタル回覧板の導入を今後希望しますか。



(12)あなたはまちづくり活動の情報をどのように入手していますか(複数回答)

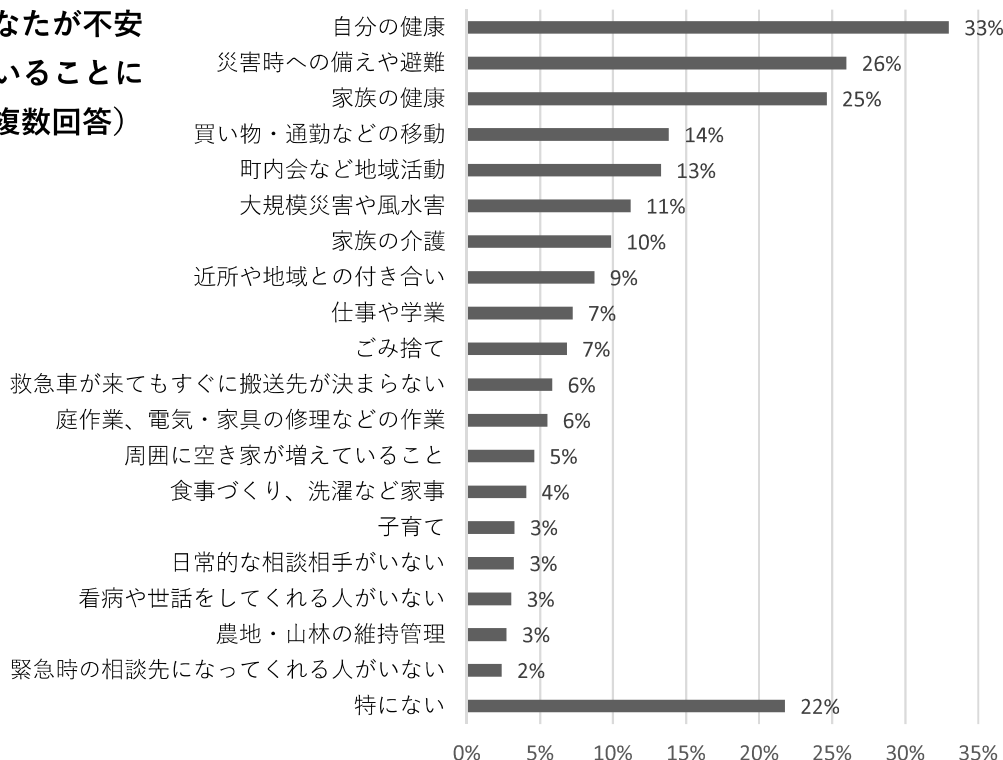


伝法地区まちづくりに関する調査(アンケート)結果 【速報値】

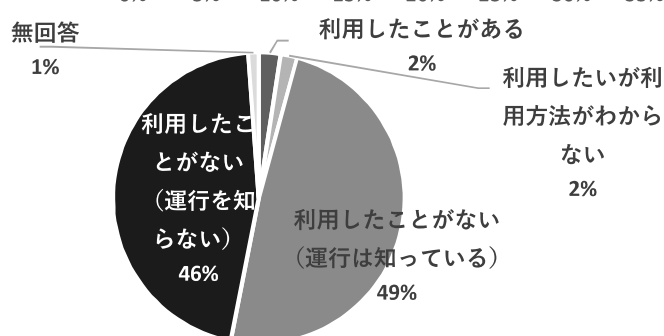
日常生活・災害時について

日常生活の中で不安に感じていることは、自分や家族の「健康」「災害時への備えや避難」「移動」が多くあげられました。移動手段となる「のるーとふじ」は利用者が2%と少なく、避難所についても、開設場所の認知度は高いものの、運営形態まで知っている人は家族が知っている人を含めても半数以下でした。

(13)日常生活のなかで、あなたが不安に感じていること、困っていることについて教えてください。(複数回答)



(14)伝法地区を運行しているA I オンデマンドバス「のるーとふじ」についてお聞きします。



○大規模災害発生時に、伝法小学校・吉原第一中学校に開設される避難所についてお聞きします。

(15) 伝法小学校、吉原第一中学校に避難所が開設されることを知っていますか。



(16) 避難所の運営形態は避難してきた方が自主的に運営することを知っていますか。



(17) 避難所は、避難してきた方が自主的に運営できるようになるまで、各町内会から選出された避難所運営委員及び支援要員がサポートする体制になっていることを知っていますか。



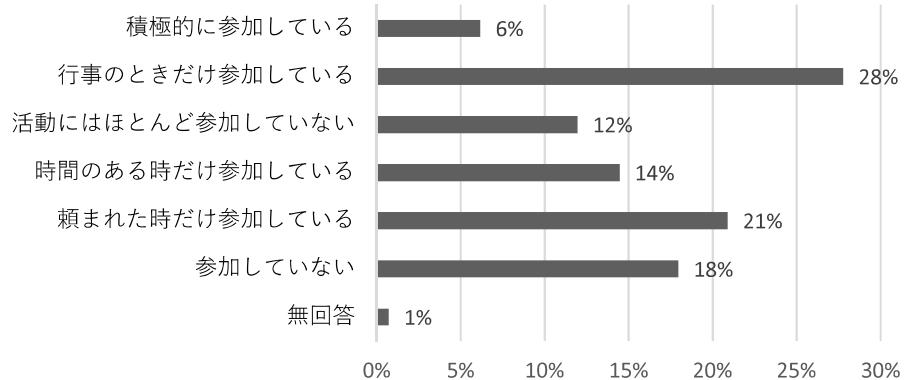
■ 知っている ■ 知らない(家族は知っている) ■ 知らない(家族を含め) ■ 無回答

伝法地区まちづくりに関する調査(アンケート)結果 【速報値】

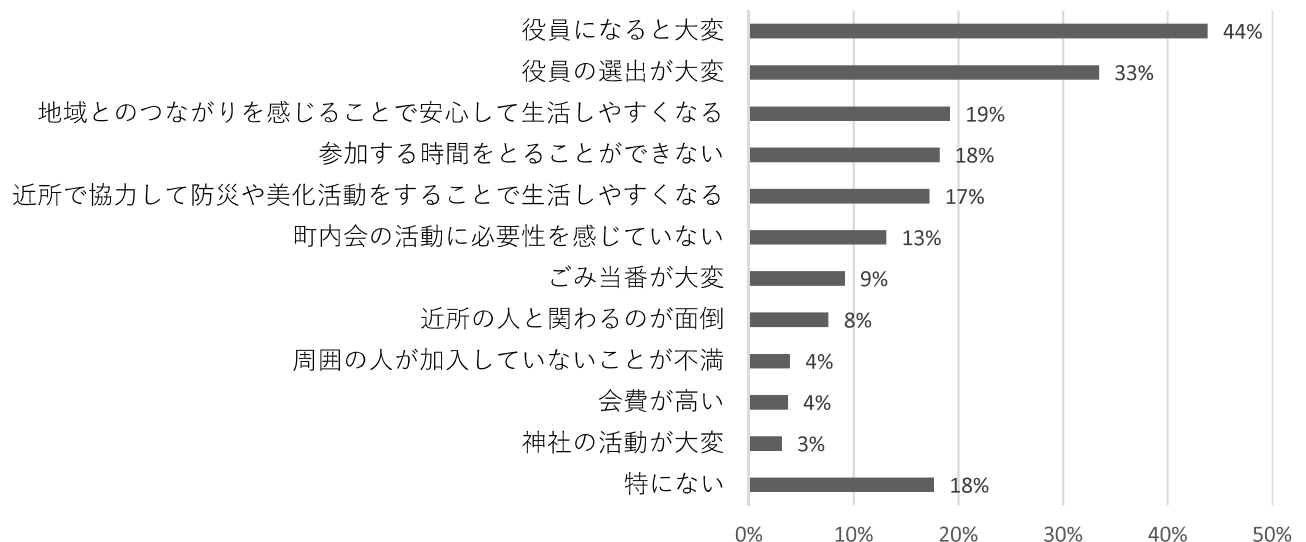
町内会について

町内会の活動については、「役員になると大変」「役員選出が大変」と回答した方が多く、役員に関する負担を感じる方が多いことがわかります。一方で、安心して生活しやすくなる・美化活動などにより快適な生活をしやすくなるといったメリットを感じる声も一定数あります。

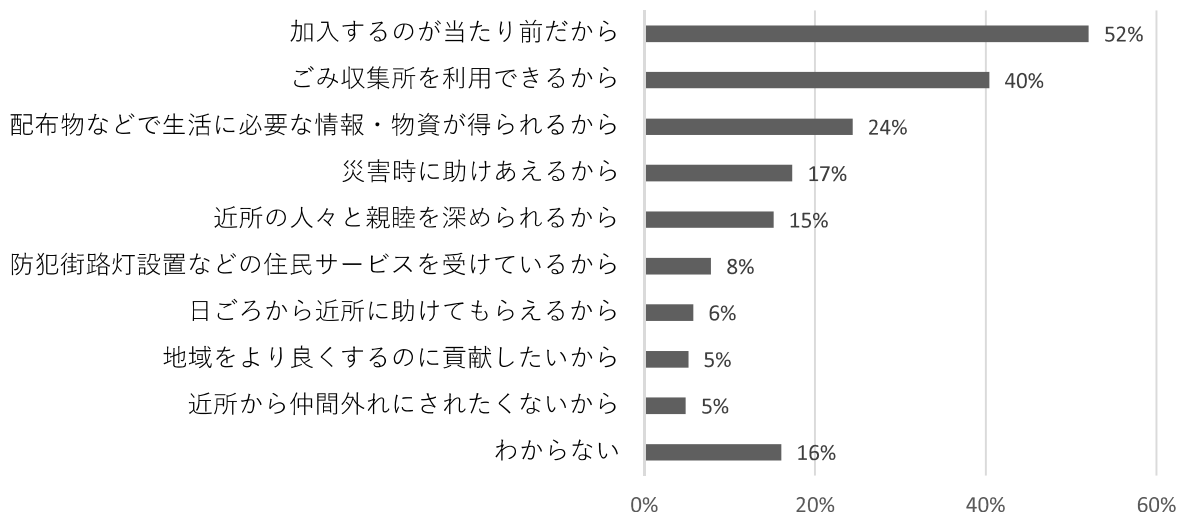
(18)あなたは町内会の活動について、どの程度参加されていますか。



(19)町内会の活動について感じていることは何かありますか。（複数回答）



(20)あなたの世帯が町内会に加入している理由は何ですか。（複数回答）

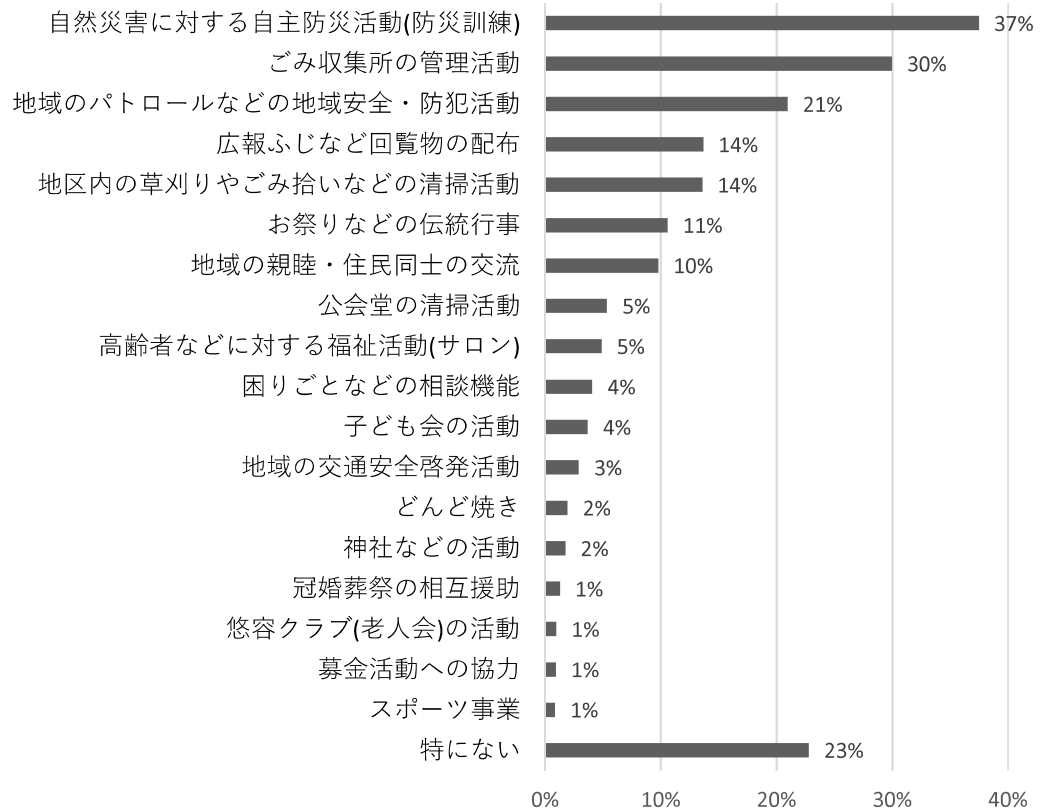


伝法地区まちづくりに関する調査(アンケート)結果 【速報値】

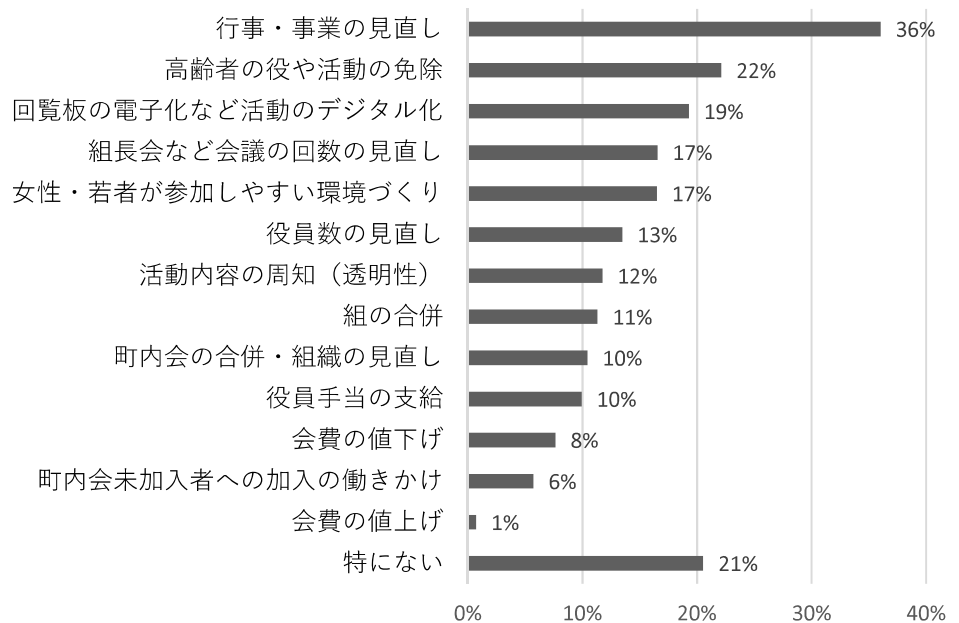
町内会の今後について

町内会活動で積極的に行ってほしいことは、「自然災害に対する自主防災活動（防災訓練）」が最も多く、持続可能な町内会のために必要なことは、「行事・事業の見直し」が最も多い結果となりました。

(21) 町内会の活動で積極的に行うべきことは何だと思いますか。（複数回答）



(22) 持続可能な町内会のために必要なことは何だと思いますか。（複数回答）

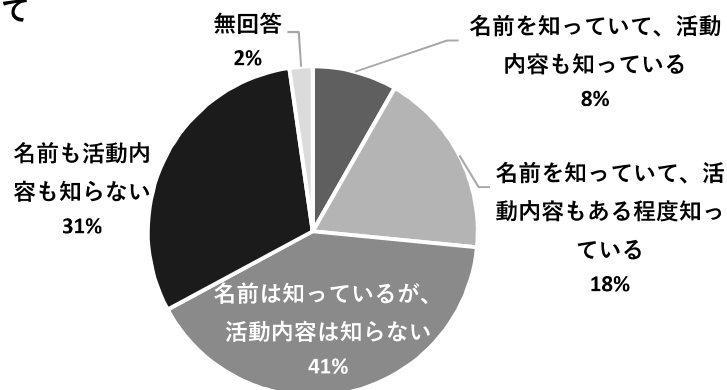


伝法地区まちづくりに関する調査(アンケート)結果 【速報値】

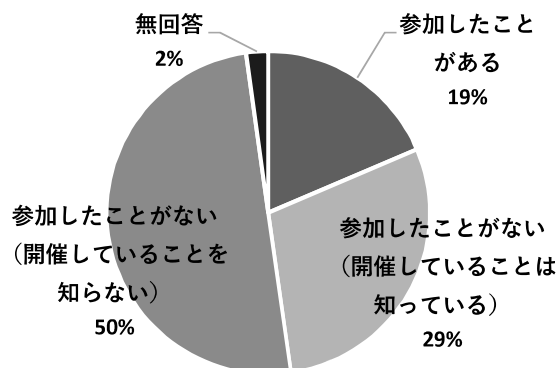
まちづくり協議会について

協議会の名称の認知度は7割近いものの、協議会が実施している主な行事の認知度は5割弱、参加者は2割弱にとどまっています。また、各構成団体への活動の参加意向として、現状参加できない方が多い一方、活動に参加したい方が65人、将来活動に参加したい方が303人おり、このような潜在的な人材と協議会の活動を繋げていくことが今後期待されます。

(23)あなたは、伝法地区まちづくり協議会を知っていますか。

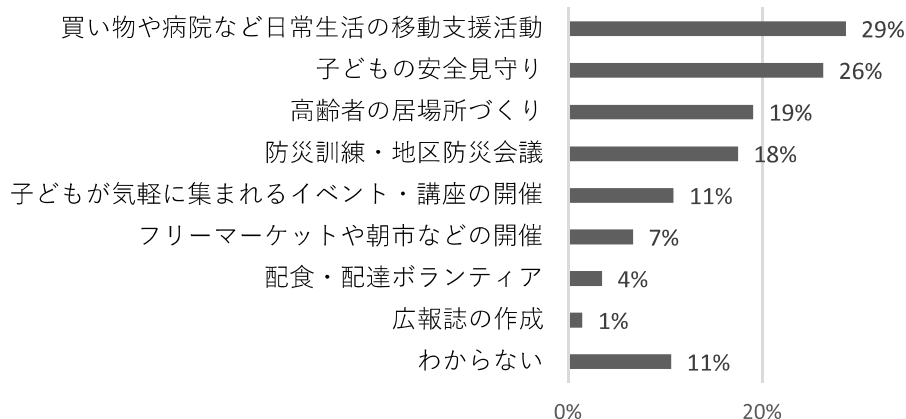


(24) 現在、伝法地区まちづくり協議会が地域の活性化のために「伝法わくわくラジオ体操」「わくわくFESTA伝法」「スポフェス+GG」「まちづくり安全推進大会」「わくわく防災キャンプ」など企画、実施している事業のいずれかに参加したことがありますか。

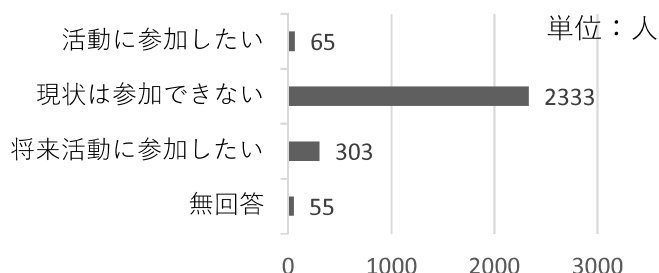


(25) 各項目の地区活動について今後、重要なことは何だと思いますか。

(複数回答)



(26) まちづくり協議会の構成団体には消防団や交通安全指導員など伝法地区がより安心安全な町になるため日々重要な活動をしてきています。しかし、現状は人員が大きく不足しています。そこで、みなさんにお聞きます。

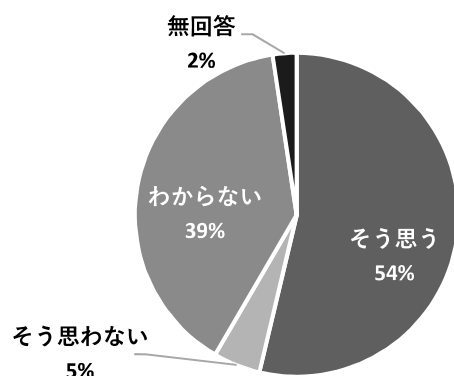


伝法地区まちづくりに関する調査(アンケート)結果 【速報値】

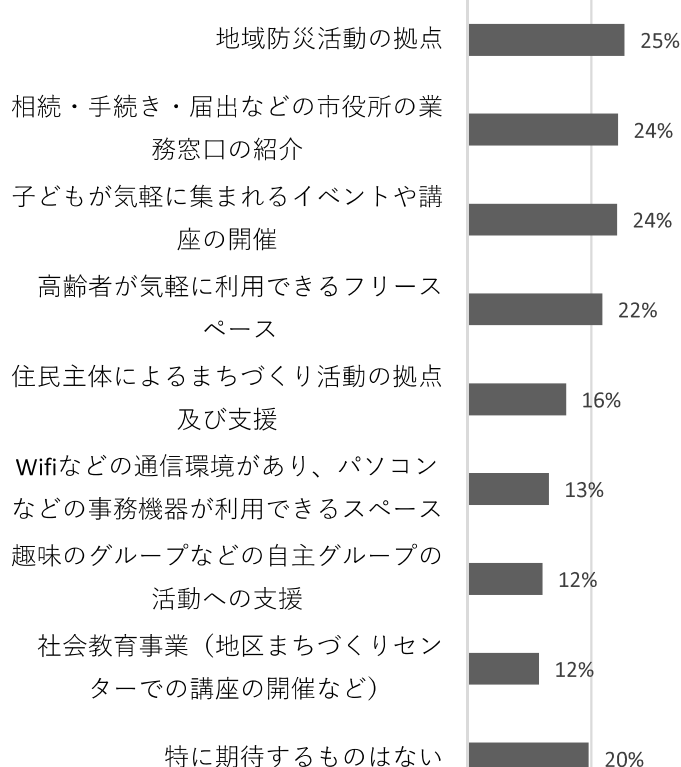
学校との協働、センターの機能について

地域・学校・家庭が協働していくことは約半数が「大切」だと回答しており、日ごろから地域の方と子ども達が交流することの必要性を感じています。まちづくりセンターの機能としては「地域防災活動の拠点」「市役所の業務窓口の紹介」「子どもが気軽に集まれるイベントや講座の開催」が特に求められています。

(27) 未来の子どもたちのため、より良い地域を創るために地域・学校・家庭が三位一体となり協働していくことは大切だと思いますか。



(29)伝法地区まちづくり活動の拠点として、まちづくりセンターに今後どのような機能が必要だと思いますか。(複数回答)



(28) 協働していくために必要だと思うこと。

- ・声掛け等まずはお互い顔がわかる事が大事
- ・すきま時間ながら活動を心掛ける
- ・子どものいない家庭にも届く情報発信
- ・子どもと住民の接点の場(行事等)が大事
- ・無理なく参加できる仕組みづくり
- ・日々多忙な労働環境にある学校の先生方を地域がバックアップしていく体制
- ・学校の住民への開放、透明化、積極性。
- ・子どもたちと高齢者たちとの集いを楽しめる場所(歌いあう会、子ども食堂等)
- ・部活動廃止に伴い、中学生の放課後の居場所づくり など

(30)伝法地区での暮らしやまちづくり活動などについてのご意見・ご要望など

- ・三世代交流イベントの実施
- ・まちづくりセンターに自習室がほしい
- ・防犯カメラをつけてほしい
- ・移動手段が無い方への買い物支援
- ・フリマやマルシェ等があると良い
- ・空き物件を子ども食堂や高齢者サロン等に利用し住民の交流の場所をつくる
- ・各地区公会堂をもっと活用する
- ・家庭での困りごと(草取り、木の伐採、買い物補助など)を格安で手伝ってくれるボランティア、サークルがあればと思う
- ・高齢の方の役を免除してほしい
- ・回覧資料が多い。電子媒体の活用を
- ・車いすで出歩ける安全な道が少ない
- ・コミュニティバスの充実
- ・各組の戸数差が大きい。合併を検討すべき
- ・行事や係を減らして簡素化 など

たくさんのご意見をありがとうございました

いただいたご意見はまちづくり協議会・連合町内会長会で改善・解決に向け協議・検討してまいります